

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

平成22年度 第9回 森と木の絵画コンクール

「テーマ：私の見つけた木」



テーブルに作品を並べて審査する、審査委員長の洋画家の山田先生（中央）



遠目から絵画を見て、入賞作品を決定している様子

【計画部 指導普及課】 森林や自然にふれあう機会の少ない大阪の子どもたちが絵画を通じて森林や自然に親しむことを目的に始めた「森と木の絵画コンクール」も今年で9回目となりました。

299校の大阪市立小学校を対象に「わたしの見つけた木」をテーマに絵画を募集したところ、60校から1589点の作品が集まりました。

洋画家の山田倫子先生を審査委員長に迎え、厳正な審査の結果、各学年から金・銀・銅賞及び佳作10作品を選出しました。

多くの力作の中から78点を選出するのは大変な苦勞がありましたが、審査の結果を近畿中国森林管理局のホームページ上に発表するとともに、各入賞校あて、賞状並びに副賞を送付しました。

昨夏の大変な猛暑の中で、一生懸命に木や森や木造の建物を見て写生に頑張ってくれた児童の皆さんのがんばりに感謝しています。

入選作品のご紹介（金賞）

題名：「森はにぎやか、森はさわやか」
中川小学校 片山 知優^{ちひろ}



◆1年生

◆2年生

題名：「あめちゃんの木」
南百済小学校
田中 夏月^{なつき}



題名：「わたしの見つけたこんな木」
まつた
 茨田西小学校 高田 愛



◆3年生

題名：「トロッコ列車から見た黒部の森」
だいのりょう あがり
 大領小学校 前田 安佳里



◆4年生



◆5年生

題名：「屋久島の森」
みてしま
 御幣島小学校
はたなか かいせい
 畑中 海星

◆6年生

題名：「大木のある風景」
 清江小学校
あゆみ
 山口 歩



すべての入賞作品については、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/kaiga.html>



地域ニュース

海岸林のマツをマツクイムシから 守るため薬剤の樹幹注入を実施

【三重森林管理署】三重県熊野市と新宮市の間にある七里御浜国有林において、マツクイムシの被害を防止するため薬剤の樹幹注入による防除に取り組んでいます。



連続としたマツ林（七里御浜国有林）

七里御浜国有林は、延長約25km、面積約92haの海岸林で、熊野市・御浜町・紀宝町にまたがる熊野灘に面する美しい白浜と玉

砂利の緩やかな曲線を描く海岸沿いにあり、「日本の渚百選」や「21世紀に残したい自然百選」などにも選ばれた景勝地で、世界文化遺産の熊野古道の背景林でもあり、延々と続く松林は古くから地元の防風林としての役割も持ち、また、「レクリエーションの森」に設定し、地域住民の憩いの場として林内整備なども進めているところです。

薬剤注入するまでの作業工程



マツクイムシ等による松枯れの被害は、昭和30年代の発生以降年々増加し、松林の衰退化で防風効果が危ぶまれる状況となってきたことから、三重森林管理署では、これまで薬剤の散布による防除や被害木の伐倒駆除を行ってきており、平成17年度からは周辺環境への影響に配慮し、薬剤をマツの樹幹に直接注入する方法による防除を行っています。

平成22年度も、約38haの国有林内の約1,500本のマツに薬剤を注入し、被害の防止に努めているところです。

三重県森林ボランティア交流大会の開催

【三重森林管理署】 三重県森林ボランティア交流大会が3月20日、三重署管内の深山国有林で開催されました。この大会は今年で第4回を数え、三重県緑化推進協会や深山国有林で社会貢献の森の協定を結んでいる「深山国有林で学ぶ会」など10のボランティア団体の60名近くが参加しました。

ケヤキ植栽木の毎木調査の後、ボランティア団体同士の意見交換会を実施し、森林に対して環境、資源、海岸のマツ林、街道、子どもの情操教育等、様々な視点から活動していることに、参加者も大きな関心を寄せていました。



参加者全員による記念撮影

枝打ち作業をするボランティアの方々

また、署からは森林インストラクターによる森林・林業の話、松阪森林官による深山国有林の森林施業や森林官の業務等について話をしました。特に森林官手作りの資料による説明では、国有林でどんなことをしているかよくわかったという感想が多く聞こえ、国有林をPRする機会になりました。

その後、枝打ちに汗を流し、明るい林内になんか変わった感じが体感し、満足そうでした。今後もボランティア団体との交流の機会を設けていきたいと思います。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/>

民有林と国有林の連携による「森林共同施業団地」を設定

【奈良森林管理事務所】 奈良県吉野郡野迫川村役場において、「野迫川村桧股地区における森林共同施業団地の設定に関する協定」締結式を開催しました。

近畿中国森林管理局では、昨年11月に最終とりまとめが公表された「森林・林業再生プラン」に取り組むこととしており、その一環として、以前より「民有林と連携した森林共同施業団地」の設定を積極的に進めています。

当所では、昨年より「野迫川村における森林共同施業団地の設定に関する連絡会議」を設置して、野迫川村内の国有林周辺を対象に、民有林との連携による森

林共同施業団地の設定に向けた検討を進めて参りました。連絡会議において議論を進めた結果、この度、奈良県内初の森林共同施業団地に関する協定の締結に至ることができました。

今回締結した協定では、野迫川村の村有林95ha、野迫川村森林組合が管理委託する私有林80ha、(独)森林総合研究所森林農地整備センターの水源林34ha、当所の国有林120ha、合計330haを対象として、今後5年間、協定締結者が相互に連携を図りながら、計画的な森林整備と効率的な路網の作設を行うこととしております。

協定締結式には、野迫川村の角谷喜一郎村長、野迫川村森林組合の雪谷明良組合長、(独)森林総合研究所森林農地整備センター奈良水源林整備事務所の梶大八所長、及び当所の山口所長が、立会人として奈良県南部農林振興事務所の佐野勝所長が出席しました。



4者間の協定締結式の様子

協定締結後、角谷村長から、「現在、野迫川村の林業は低迷しており、今後再生させる急務な取組みが必要です。

この度、民有林と国有林が連携して、関係者の合意のもとに森林共同施業団地が設定されたことは、民有林と国有林の壁を崩す画期的な取組みであり、意義深いものがあります。奈良県内初であり、本取組みが他の地域の手本となり、実のあるものにするためにも、

今後、関係者間でしっかりした事業計画の策定の取組みをお願いします。

また、この協定をスタートに村内の他の箇所においても引き続き共同施業団地の拡大ができることを期待します。」とのコメントが述べられました。

最後に、当所より閉会の挨拶を述べて、協定締結式を終了しました。

今回締結した協定に基づいて、関係者の参画による連絡調整会議を開催しながら、桧股国有林を中心とする森林共同施業団地において、計画的な森林整備と効率的な路網の作設に努めることとしています。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

地域管理経営計画等有識者懇談会の開催

【計画部計画課】 3月7日局大会議室において、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定に当たり、有識者委員の方々から意見を聴取するために、これらの計画に適切に反映させるために「平成22年度地域管理経営計画等に関する有識者懇談会」を開催しました。

各委員の方々から寄せられた意見・要望等については、今後の国有林の管理経営の参考にしていくこととなります。



委員の先生方の前に挨拶する本村局長

概要説明をする局担当職員

◆主な意見は次のとおりです。

(計画案について)

・一般国民から見ると国有林も民有林も同じ森林であり、国有林だけの説明を受けても地域の全体像が見えてこない。制度上困難であるなら、民・国合わせた森林整備実施計画をたてる(民有林と国有林が連携した)森林共同施業団地をモデルとして広げて欲しい。

・民有林で、列状間伐が山荒らしに繋がっている例が見られるが、国有林では、直接指導はできないにしても、列状間伐や低コスト路網生産システムの正しい知識を普及する必要がある。

・ニホンジカの被害対策に積極的に取り組む必要がある。

(その他について)

・消費者は、外材か国産材の認識もなく価格のみで判断していることが多い。消費者がどういうところに価値を持っているかをよく研究して、消費者が求めるものを提供することに焦点をあて、それを見据えた森林の将来見通しをたてる必要がある。

※説明資料等の詳細につきましては、下記アドレスよりご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/22-yuusikisha.html>

お知らせ



2011「国際森林年」について

2011年(平成23年)は、国連が定めた国際森林年(the International Year of Forests)です。国際森林年は、世界中の森林の持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高めることを目的としています。

我が国でも、国際森林年という節目の年に、現在取り組んでいる森林林業再生や「美しい森林づくり推進国民運動」、途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進につなげていくことを目的に、様々な活動を予定しています。

国際森林年に合わせた各種イベント等の取組内容については、下記アドレスをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kouhou/2011iyf.html>



森林・林業体験プログラム冊子の作成

福井森林管理署は、あわら市北湯の北湯国有林に親んでもらうために「森林・林業体験プログラム～北湯国有林をフィールドとして～」と活用ガイドのパンフレット「北湯の森で遊び学ぶ」を発行しました。

詳細につきましては、プログラム冊子をご覧ください。

森林散策、森林内での体験活動などに関心のある方、福井森林管理署へご連絡下さい。

なお、ホームページへは近々掲載予定です。



連絡先：050-3160-6105(代表)

流域管理調整官 大石



森林のギャラリー(局庁舎1階)

【5月の展示スケジュール】

5/9～5/20 「紙製品で国産材や間伐材を使おう」

【(株)山櫻】

5/23～5/29 「木のぬくもり展4」

【木さく会】

5/30～6/10 「屋久島・屋久杉」(水墨画・油絵作品展)

【バオバブ】